

## 1250 | 版画 VI

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

永井研治教授、遠藤竜太教授、高浜利也教授、今井庸介講師、木村繁之講師、木村真由美講師、小森琢己講師、渡邊洋講師

## 授業の概要と目標

これまで幾つかのテーマについて、課題の中で取り組んできたが、この科目からは通信授業、面接授業ともに自由テーマによる制作となる。自己のテーマと表現に見合った研究課題を設定し、「卒業制作」を視野に入れた版種を選択する。制作過程で技術的修練を積み重ねることも重要だが、技法や材料への興味を越えて、版の特性を意図的に用いる具体的な取り組みが求められる。そこで、なぜ版を使うのか、如何に自らの表現の中で版を活かすのか、改めて考える機会にもなるであろう。それぞれの主題を決めるところから、版材、紙などの材料を研究し、自己の表現へと結びつけていくことを学習する。通信授業、面接授業ともに、「卒業制作」を視野に入れた版種を選択し、制作する。

## 課題の概要

○通信授業課題「自主制作 1」

1-1 自由テーマによる制作。4 版種（木版、リトグラフ、銅版、スクリーンプリント）の中から卒業制作に予定している 1 版種を選択し、ドローイング、版画作品を制作する。

○面接授業課題「自由テーマによる制作」

1-1 自由テーマによる制作。4 版種（木版、リトグラフ、銅版、スクリーンプリント）の中から卒業制作で選択する 1 版種を選び、版画作品を制作する。

## 授業計画

[通信授業]

学習指導書『版画 VI・VII／卒業制作 平成 29 年度』の「版画 VI」、教科書『新版 版画』の第 2 章、第 4 章を参照し、制作を進める。

[面接授業]

「木版」「リトグラフ」「銅版」「スクリーンプリント」(1 版種選択)

第 1 日 午前：前提講義及びドローイング指導 午後：制作（個別に指導）

第 2～5 日 午前：制作 午後：制作

第 6 日 午前：制作 午後：制作及び採点・講評

\* 第 1 日に卒業制作についてのオリエンテーションを行う予定。

## 成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 4 年次

[履修条件] 版画コース 3 年次必修科目の単位をすべて修得していること（『学生ハンドブック』p.049 の特例を除く）。

[備 考] 油絵学科版画コース 4 年次必修科目。

通信授業を受講するにあたり、選択版種に応じて設備・機材を使用できる環境にあることが望ましい。

## 教材等

教科書：『新版 版画』（武蔵野美術大学出版局 2012 年）

学習指導書：『版画 VI・VII／卒業制作 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）